

教科	科目	学年	単位数
国語	国語	3年	4
使用教科書		副教材	
中学校国語3 光村図書 中学校書写 光村図書		最新国語資料集 新学社・漢字練習字典 新学社 新・基礎の学習国語3 新学社 解いて覚える中学生の文法 とうほう	

1. 学習到達目標

- ・目的や場面に応じて、構成を工夫して話す能力、話し手の意図を考えて聞く能力、話題や方向をとらえて話し合う能力を身に付けるとともに、話したり聞いたりして考えをまとめようとする態度で学習に取り組む。
- ・目的や意図に応じ、構成を考えて的確に書く能力を身に付ける。
- ・さまざまな種類の本や文章を読み、内容や要旨を正確にとらえる能力を身に付けるとともに、読書を通じてものの見方や考え方を広げようとする態度を身に付ける。

2. 評価の観点と方法

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。定期テストの結果に、小テスト・提出物・授業態度などを加味し、総合的に評価する。	論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。定期テストの結果に、小テスト・提出物・授業態度などを加味し、総合的に評価する。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。授業態度、課題への取り組み状況、提出物などを総合的に評価する。

3. 学習内容 (下表参照)

4. その他(科目の特徴や学習の注意点など)

- ・授業とは別に、定期的に漢字テストを行う。また、教科書にない教材や発展的内容を扱うこともある。
- ・定期テストの範囲は下表の中から選択し、その都度示す。
- ・下表とは別に、特別授業の中で書写を扱う。

	月	単元	授業内容	その他
一学期	4	小説 漢字に親しもう1 文法への扉1 文法 文法1	握手 一、二年生の復習 文法を生かす	・ 抽象的な概念を表す語句などや作品の展開を踏まえて人物像を捉え、その生き方について考えを深める。
	5	書く・話す・聞く 漢文・解説	説得力のある構成を考えよう 学びて時に之を習ふ 漢文の訓読	・ 聞き手の心を動かし、説得できるような話の構成を考え、工夫する。 ・ 歴史的背景に注意して「論語」を読み、長く受け継がれてきた名言に触れる。 ・ 人間の生き方についての孔子の考え方を自分たちと関連づけて考える。
	6	論説 書く	作られた「物語」を超えて 思考のレッスン 具体化・抽象化 論理の展開を意識して書こう	・ 論理の展開における具体と抽象の関係を捉え、論説の特性を踏まえて読み、論理の展開のしかたを捉える。 ・ グラフを基に小論文を書く。

	7	漢字 1 漢字に親しもう 2 俳句・解説 言葉 2 読書活動 読書	熟語の読み方 俳句の可能性 俳句を味わう 言葉の釣り糸を垂らす 和語・漢語・外来語 語彙を豊かに 読書を楽しむ 「私の一冊」を探しにいこう	<ul style="list-style-type: none"> 俳句の表現意図による語句の使い分けに着目し、語感を磨くとともに、作者の表現意図を考え、表現のしかたを評価する。 感覚や概念を表す語句・表現の幅を広げ、文章に表れた筆者のものの見方や考え方について考える。
二 学 期	8	詩	挨拶	<ul style="list-style-type: none"> 語句の辞書的な意味や語感を踏まえて、文脈上の意味や効果を考え、その効果を評価し、現代社会の状況と重ね合わせながら考えを深める。 人の生き方や社会との関わりを考えるうえでの読書の意義を理解し、作品を批判的に読むことで時代や社会の中で生きる人間の姿について考える。
	9	小説	故郷	
	10	言葉 3 漢字 2 文法 2 論説 書く 漢字に親しもう 3 古典・解説 古文	慣用句・ことわざ・故事成語 漢字の造語力 文法のまとめ 複数の意見を読んで、考えよう 考えを効果的に伝えよう 和歌の世界 古今和歌集 仮名序 君待つと	<ul style="list-style-type: none"> 社会との関わりを支える読書の効用を理解する。 文章を批判的に読み、論理の展開や表現のしかたを評価する。 論理の展開や表現を工夫して批評文を書く。 各歌集の歴史的背景や和歌が詠まれた状況に注意し、和歌の世界に親しむ。 和歌に詠まれた情景や心情を読み取り、表現のしかたを評価する。
	11	古文	夏草	<ul style="list-style-type: none"> 作品の歴史的背景に注意して読み、古典の世界に親しむ。 文章に表れている作者のものの見方や感じ方について考える。
	12	論説 漢字 3 漢字に親しもう 4 話す・聞く 読書	それでも、言葉を 漢字のまとめ 合意形成に向けて話し合おう 本は世界への扉 本の世界を広げよう	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な事例を挙げるなどして、抽象的な概念への理解を深める。 筆者の見方・考え方を踏まえ、言葉について自分の意見をもつ。 身近な課題解決について話し合い、多様な考えをもつ人々の意見を生かしながら、よりよい提案をまとめる。
三 学 期	1	随筆	温かいスープ	<ul style="list-style-type: none"> 文章を読み、国際社会における人と人との関係について考えを深める。 文章を読み、人との出会いや人生について考えを深める。 文章を読み、人と自然、時とともに変わるもの、変わらないものに思いをはせる。 詩の中の言葉や表現から作品のもつメッセージを捉え、自分の可能性について考える。
	2		アラスカとの出会い 律儀な桜 わたしを束ねないで	
	3	漢字に親しもう 5 話す・聞く・書く 古典文法	三年間の歩みを振り返ろう 歴史的仮名遣い 用言の活用	<ul style="list-style-type: none"> 中学校生活を振り返り、材料を整理して自分の考えかたを分かりやすく伝える。 歴史的仮名遣いについて学ぶ。 動詞の活用を理解し、活用の種類が見分けられるようにする。

